

新春のごあいさつ

雲南消防本部
消防長 細木 経夫

平成二十二年の輝かしい新春を迎え、謹んでお喜び申し上げます。地域住民の皆様をはじめ、関係機関の皆様には、平素より消防行政全般にわたりご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国外ではインドネシアのスマトラ島沖地震、また国内においては、七月に山口県での豪雨、八月には兵庫県佐用町での集中豪雨などの災害により、甚大な被害が生じました。

また、火災においては、十一月に浜松市での麻雀店火災、東京杉並区の雑居ビル火災、韓国の射撃場火災などにより多くの犠牲者が発生しました。

近年、国内においては局所的な集中豪雨による被害が顕著になっており、近隣県でのこうした被害は決して他人事ではないと実感したところがあります。火災においても小規模な建物において多くの方が犠牲になるなど、今後、一層防火管理意識の高揚が必要であると認識させられました。

救急活動においては、例年と同じく高齢者の搬送率が高くなっており、また、春先から全国的に新型インフルエンザが流行し、雲南管内に

においても感染が拡大し、引き続き憂いべき状況ですが、適切な対応に努める所存です。

昨年十月十五・十六日、中国・四国ブロックの緊急消防援助隊の合同訓練が、出雲市と雲南市を主会場として開催され、中・四国の消防本部はもとより、総務省消防庁、東京消防庁のほか、北九州市消防局も訓練に参加され、消防本部発足以来、初めてとなる被災地訓練を実施しました。大規模な災害がいつどこで起こるか予測できない状況下においての訓練を終え、職員一同、有事の際の災害対応について改めて認識を深めたところです。

さて、昨年は、国の緊急地域安全対策事業により、厳しい財政状況下ではありますが、構成市町のご理解により、消防ポンプ自動車と高規格救急車の更新を決定いただき、消防装備の充実強化に大きな期待をされているところです。

今年も寅年にちなみ職員が一丸となり「躍動」できますよう、地域住民の皆様への「安心・安全」に精進する所存であります。

終わりに、本年が災害のない明るい年となりますことを心から御祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

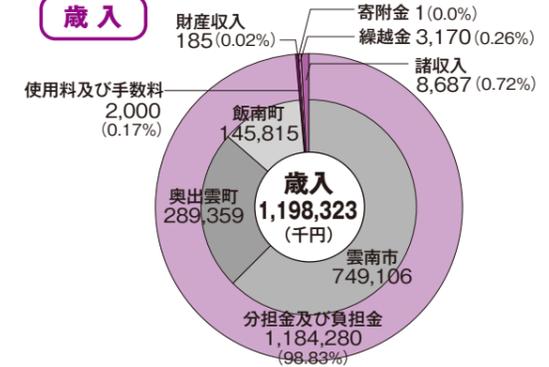
平成21年度 雲南消防組一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に47,662千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1,198,323千円としました。

主な内容

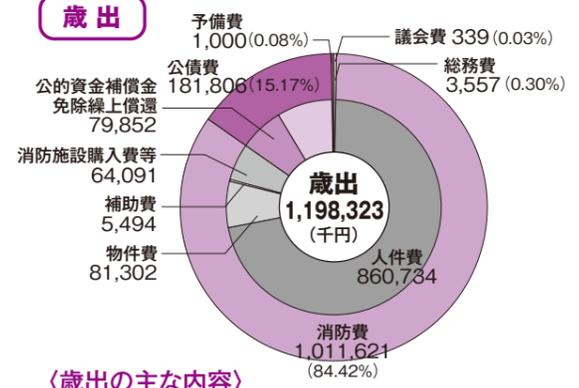
- 職員の給料・手当の減額 △ 7,276千円
- 職員の共済費の増額 9,350千円
- 島根県市町村総合事務組合負担金 46,353千円
- 平成20年度決算に伴う構成市町への還付額 2,870千円

歳入



〈歳入の主な内容〉
主な収入は構成市町分担金が最も多く、歳入全体の9割を占めています。

歳出

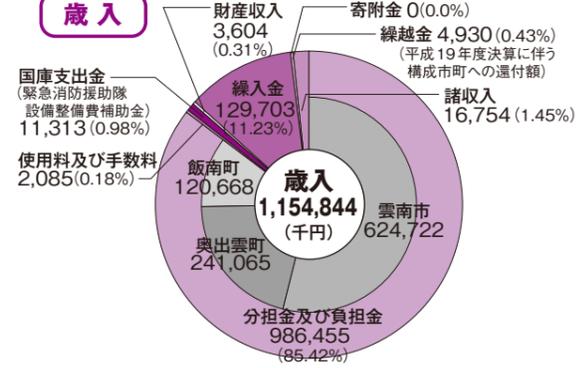


〈歳出の主な内容〉
雲南消防署へ新型高規格救急自動車及び消防ポンプ自動車を配備予定、公的資金補償金免除繰上償還の実施

平成20年度 雲南消防組一般会計歳入歳出決算

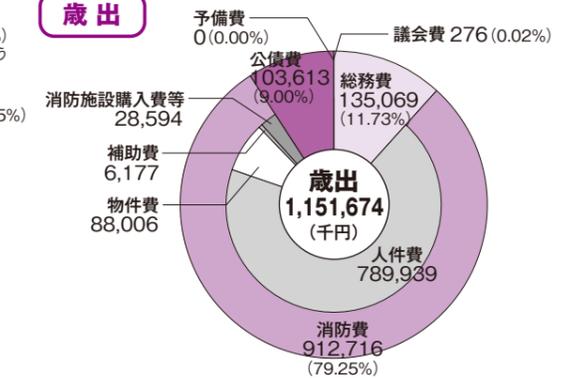
平成20年度一般会計は、歳入総額が1,154,844千円、歳出総額が1,151,674千円となり、歳入から歳出を差し引いた額は平成21年度に繰り越し、構成市町に還付します。

歳入



〈歳入の主な内容〉
主な収入は構成市町分担金が最も多く、歳入全体の8割を占めています。

歳出



〈歳出の主な内容〉
奥出雲消防署へ新型高規格救急自動車を配備しました。

雲南消防組 議会報告

- 平成20年度雲南消防組一般会計決算認定について**
平成20年度一般会計は、歳入総額が1,154,844千円、歳出総額が1,151,674千円となり、歳入から歳出を差し引いた額は平成21年度に繰り越し、構成市町に還付します。
- 雲南消防組議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について**
雇用保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正しました。
- 消防職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について**
人事院規則等の改正を受け、育児休業期間を引き続き勤務したものと見なすよう、条例の一部を改正しました。
- 財産の取得について**
消防ポンプ車の更新に伴う、財産の取得について議会の議決を求めたものです。
- 平成21年度雲南消防組一般会計補正予算(第2号)**
歳入歳出予算の総額に47,662千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1,198,323千円としました。